

献血に関する県民意識調査  
報告書

平成22年3月

岡山県

# 目次

I 調査概要	
1. 調査目的	1
2. 主な調査項目	1
3. 調査方法	1
4. まとめ	1
II 調査結果	
基本属性	3
問1. 今までに献血をしたことがありますか。	4
問2. 献血の種類や方法など、献血について知っていますか。	6
問3. 献血に関心はありますか。	8
問4. 次のうち、あなたが献血に関する広報媒体として見たこと(聞いたこと)のあるもの全てお答えください。	10
問5. 次のうち、献血についてあなたが「既に知っていた」情報を全てお答えください。	12
問6. 献血ルームや献血バス等、各献血会場のイメージを教えてください。	14
問7. 献血推進のためのキャラクター「けんけつちゃん」を知っていますか。	16
問8-1 献血推進のために県内で行われている主なキャンペーンであなたが「知っている」もの・「知らない」ものをお答えください。 愛の血液助け合い運動（毎年7月～8月）	18
問8-2 献血推進のために県内で行われている主なキャンペーンであなたが「知っている」もの・「知らない」ものをお答え下さい。 「はたちの献血」キャンペーン（毎年1月～2月）	20
問8-3 献血推進のために県内で行われている主なキャンペーンであなたが「知っている」もの・「知らない」ものをお答え下さい。 「ももたろう献血」キャンペーン（毎年4月～5月）	22
問9. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 初めて献血をしたのはいつですか。	24
問10-1. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 初めて献血をした場所はどこですか。	26
問10-2. 問10-1で「献血バス」を選択された方は、どの場所で「献血バス」を利用されたか。	28
問11-1. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 現在はどこで献血をすることが多いですか。	30

問 11-2. 問 11-1 で「献血バス」を選択された方は、どの場所で「献血バス」 を利用されているか。 .....	32
問 12. (問 1 で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 初めての献血の種類は何でしたか。 .....	34
問 13. (問 1 で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 今までの合計献血回数は何回ですか。 .....	36
問 14-1. (問 1 で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 献血のきっかけは次のうちどれですか？ 初めて献血をした際に きっかけとなったもの(当てはまるものを3つ選んでください。) .....	38
問 14-2. 献血のきっかけは次のうちどれですか？現在献血をするきっかけ となっているもの(当てはまるものを3つ選んでください。) .....	40
問 15-1. (問 1 で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 献血会場のサービスについて教えてください。 雰囲気 .....	42
問 15-2. 献血会場のサービスについて教えてください。 職員の対応 .....	44
問 15-3. 献血会場のサービスについて教えてください。 記念品や軽食 .....	46
問 16. (問 1 で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 今後も献血をしたいですか。 .....	48
問 17. (問 1 で「献血をしたことがない」と答えた方にお聞きします。) 献血をしたことがない理由を教えてください。 (当てはまるものを3つ選んでください。) .....	50
問 18. (問 1 で「献血したことがない」と答えた方にお聞きします。) 今後どのようなきっかけがあれば献血しますか。 (当てはまるものを3つ選んでください。) .....	52
問 19. (問 1 で「献血したことがない」と答えた方にお聞きします。) 今後、献血をしてみたいですか。 .....	54
調査票 .....	56

## I 調査概要

この献血に関する県民意識調査は、緊急雇用創出事業を活用し、岡山県が岡山県赤十字血液センターに委託して実施したものである。

### 1. 調査目的

献血を取り巻く現在の状況は、少子高齢化の進展による献血可能人口の減少や、若者の献血離れなどにより、次第に献血者の確保が困難になってきている。一方、医療技術の進歩や高齢者人口の増加等により、今後血液製剤を必要とする患者の大幅増加が予想され、これら血液製剤の安定供給が懸念される状況である。

そのため、将来にわたる献血者を確保し、安定的な血液製剤の供給に努めるという課題に対し、今後の献血推進の施策等を検討する基礎資料を得ることを目的として、若年層を中心に実施した。

### 2. 主な調査項目

- (1) 献血への関心や献血へのイメージ、献血に接する媒体経路等
- (2) 献血に関する認知度
- (3) 献血経験者が献血を行った時期や動機
- (4) 献血未経験者が献血をしなかった理由や献血への動機付け

### 3. 調査方法

- (1) 調査形式 調査員による聞き取り形式及びWEB調査
- (2) 調査場所 岡山県内の市街地、ショッピングモール、大学等
- (3) 調査対象 岡山県在住の16歳以上の県民
- (4) 回答者数 10,366人(内訳 調査結果 P.3)
- (5) 調査期間 平成21年8月17日～平成22年3月31日

### 4. まとめ

調査の結果は次のとおりであり、県民の献血に対する意識や献血協力のきっかけ、継続献血協力への諸条件等がある程度把握することができた。

今後は、得られた課題や問題点等を日本赤十字社岡山県支部や岡山県赤十字血液センターと協力して改善・解決に努め、次代を担う若年層の献血推進に結びつける。

#### 〔献血の経験〕(調査結果 問1 P.4～5)

献血経験のある人となない人の割合は概ね半々で、年代が高くなるにつれて経験者の割合が高くなっているが若年層は10代で11.9%、20代で42.5%と、40歳以上の70%以上を大きく下回っている。

#### 〔献血に対する関心と知識〕(調査結果 問2 問3 P.6～9)

「非常に関心がある」と「関心がある」を合わせると、66.6%が関心を持っているが、45.7%の人が献血の種類や方法を知らないと回答しており、こうした人に対する周知が課題である。

#### 〔献血に関する広報媒体等〕(調査結果 問4 問5 P.10～13)

見たこと(聞いたこと)のある広報媒体としては、テレビや街頭での呼びかけ、ポスターの掲示などが挙げられている。特に若年層は、これらに加え、チラシの配布や献血バスを目にすることなどの回答も多く、これらを使った積極的な広報活動についても検討する必要がある。

また、献血経験者では、400mL献血の必要性やHIV(エイズ)検査結果の不通知について、献血未経験者より認知されていた。

**〔献血ルームや献血バス等献血会場に対するイメージ〕**（調査結果 問6 P.14～15）

献血ルームや献血バス等献血会場のイメージは、59.8%の人が「明るく快適な場所」と回答しているが、反面、22.5%の人は、「暗くて無機質な場所」と回答している。

特に、献血経験の有無でイメージが異なっており、献血経験のある人の70.3%は明るいイメージを持っており、暗いイメージを持っている人はわずかである。また、献血経験のない人では、明るいイメージを持っている人が51.3%に減り、暗いイメージを持っている人が30.2%に増えている。

**〔献血キャラクターと各種キャンペーンに対する認知〕**（調査結果 問7～問8-3 P.16～23）

現在、献血キャラクターとして活用されている「けんけつちゃん」は、全体の17.6%が知っていた。

また、毎年実施している「愛の血液助け合い運動」（7～8月）、「はたちの献血キャンペーン」（1～2月）、「ももたろう献血キャンペーン」（4～5月）についての認知度は、最も高い「はたちの献血キャンペーン」でも31.7%の人にしか知られておらず、他は20%未満と、総じて知られていない。

これらキャラクターやキャンペーンの認知度については、献血経験の有無で割合が異なっており、経験のある人の認知度は比較的高いが、経験のない人の認知度は低い状況である。

**〔献血経験者の初回と現在の献血の状況〕**（調査結果 問9～問14-2 P.24～41）

初めて献血した年齢は、16歳から22歳までが80.5%であり、多くの方が20歳前後に経験している。また、その場所は、高校、大学・専門学校、勤務先、ショッピングモールに配車された献血バスが最も多い。現在の献血場所も献血バスが最も多く、また、今までの献血回数は5回までが72.0%を占めている。

献血をするきっかけは、初回、現在とも、「自分の血液が役に立ってほしいから」が圧倒的に多く、次いで、現在では、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」が続いており、ボランティア精神や社会貢献の意識に支えられていることがわかる。これは、すべての年代で同様の傾向であり、若年層もしっかりとした意識を有していることがうかがえる。

**〔献血経験者の献血会場でのサービスに対する意見〕**（調査結果 問15-1～問15-3 P.42～47）

雰囲気、職員の対応、記念品や軽食とも、「よい」と「ふつう」を合わせると90%以上となり、「悪い」が極わずかである。

しかし、高校生では、献血会場の雰囲気が「明るい」と回答したのは34.7%、アルバイトでは38.0%であった。

**〔献血経験者の今後の献血希望の有無〕**（調査結果 問16 P.48～49）

「ぜひしたい」が64.4%で、特に大学・専門学生や公務員では70%を超えている。

しかし、「どちらとも言えない」と答えた人も33.2%あり、これらの人に対するアプローチが課題である。

**〔献血未経験者の献血をしない理由〕**（調査結果 問17 P.50～51）

「なんとなく不安だから」、「怖いから」、「採血の針を刺されるのが嫌だから」、「献血場所や機会が周りにないから」など、献血に対する「不安」・「恐怖」などの心理的要因や針を刺されることへの嫌悪感、献血機会の要因が上位にある。

**〔献血未経験者の献血へのきっかけ〕**（調査結果 問18 P.52～53）

今後どのようなきっかけがあれば献血するかについては、「近くに献血する場所・機会が増えれば」、「献血しているところが入りやすい雰囲気になれば」など、献血機会や献血会場の雰囲気に関するものが上位を占めており、献血機会の広報の再検討や献血会場の雰囲気づくりの改善により、対応は可能と考えられる。

**〔献血未経験者の今後の献血希望の有無〕**（調査結果 問19 P.54～55）

献血未経験者の中で、「ぜひしてみたい」と「機会があればしたい」を合わせると、献血希望者は71.0%を占めており、今後いかにこれらの人を献血の実施に結びつけるかが大きな課題である。

## II. 調査結果

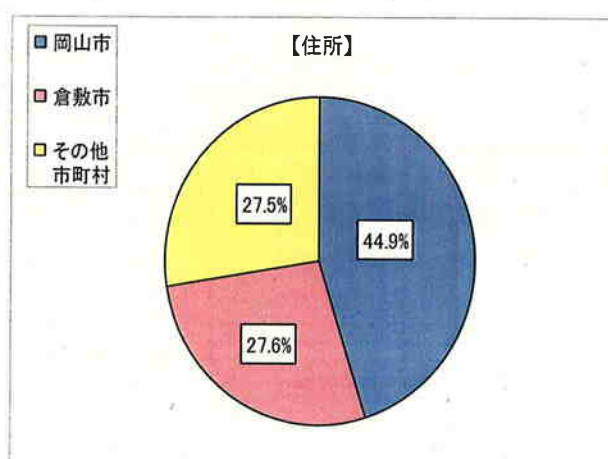
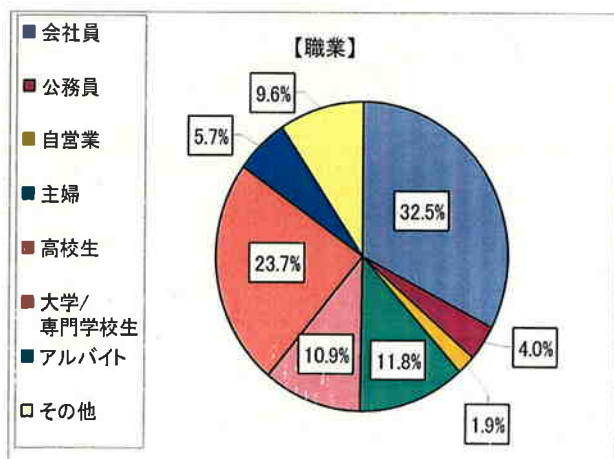
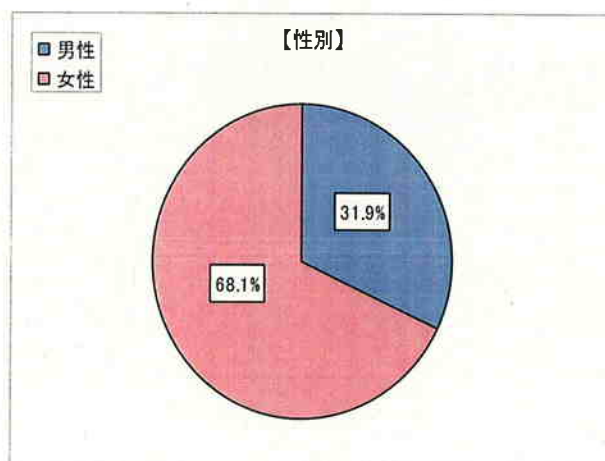
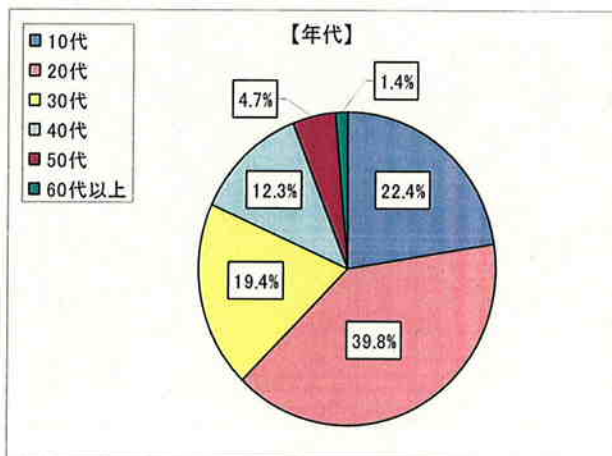
### 基本属性

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計	未回答	全回答数
人数	2,317	4,110	2,000	1,274	489	140	10,330人	36	10,366人

性別	男性	女性	合計	未回答	全回答数
人数	3,290	7,025	10,315人	51	10,366人

職業	会社員	公務員	自営業	主婦	高校生	大学/専門学校	アルバイト	その他	合計	不明	全回答数
人数	3,332	405	196	1,208	1,116	2,423	583	981	10,244人	122	10,366人

住所	岡山市	倉敷市	その他市町村	合計	不明	全回答数
人数	4,553	2,798	2,792	10,143人	223	10,366人



問1. 今までに献血をしたことがありますか。

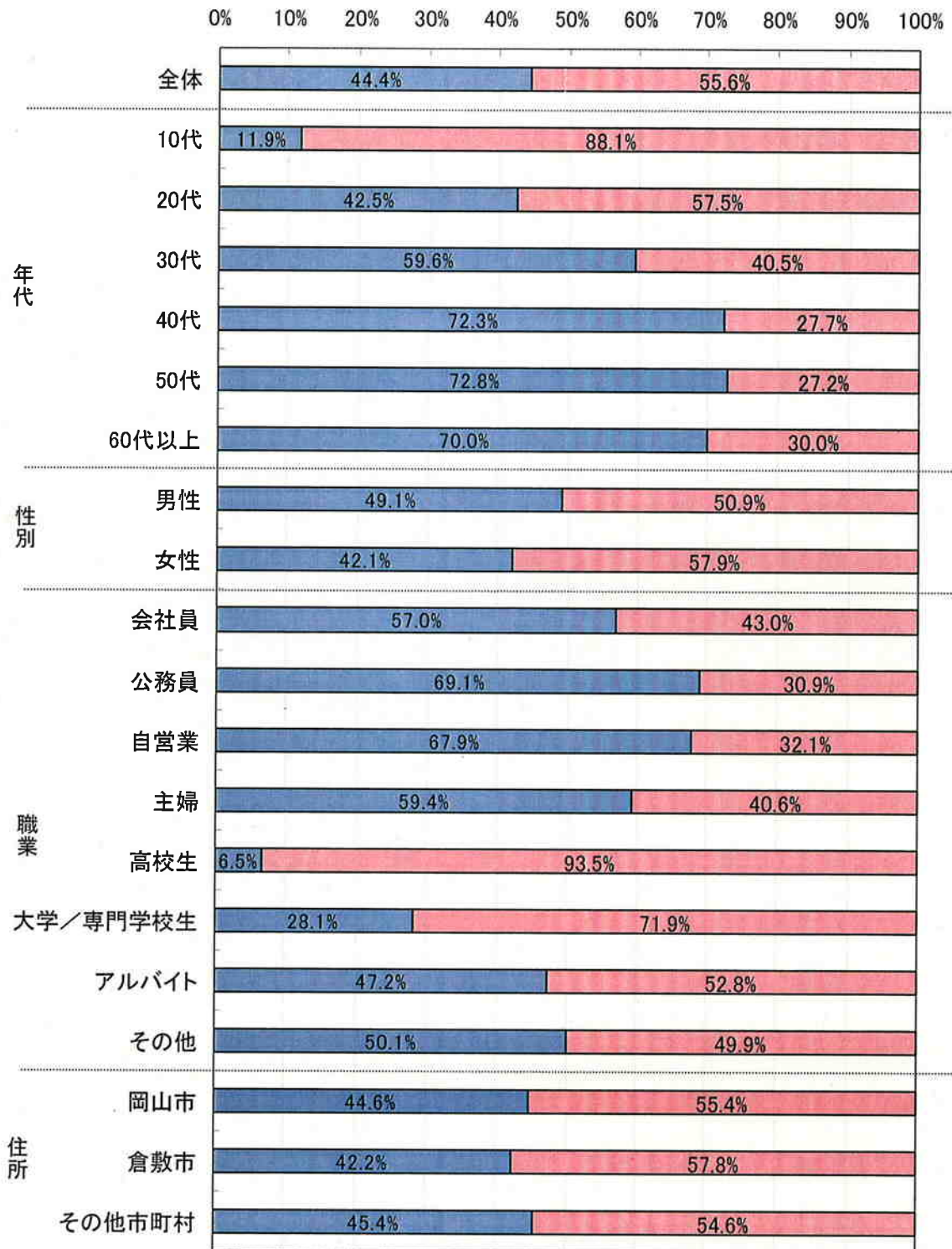
- 全体 献血経験者は全体の44.4%で、未経験者の55.6%を下回っている。
- 年代 年齢に比例して献血経験率は高まっている。
- 性別 男性の方が献血経験率が高い。
- 職業 公務員、自営業で献血経験率が高い。高校生の献血経験者は6.5%とわずかで、次に少ないのは大学生/専門学校生で28.1%となっている。
- 住所 居住地による差異は小さい。

【人数】

		1.ある	2.ない	計
全体		4,595	5,757	10,352
年代	10代	275	2,042	2,317
	20代	1,746	2,364	4,110
	30代	1,191	809	2,000
	40代	921	353	1,274
	50代	356	133	489
	60代以上	98	42	140
性別	男性	1,615	1,675	3,290
	女性	2,960	4,065	7,025
職業	会社員	1,898	1,434	3,332
	公務員	280	125	405
	自営業	133	63	196
	主婦	718	490	1,208
	高校生	73	1,043	1,116
	大学/専門学校生	682	1,741	2,423
	アルバイト	275	308	583
	その他	491	490	981
住所	岡山市	2,030	2,523	4,553
	倉敷市	1,182	1,616	2,798
	その他市町村	1,268	1,524	2,792

□ 1.ある

□ 2.ない





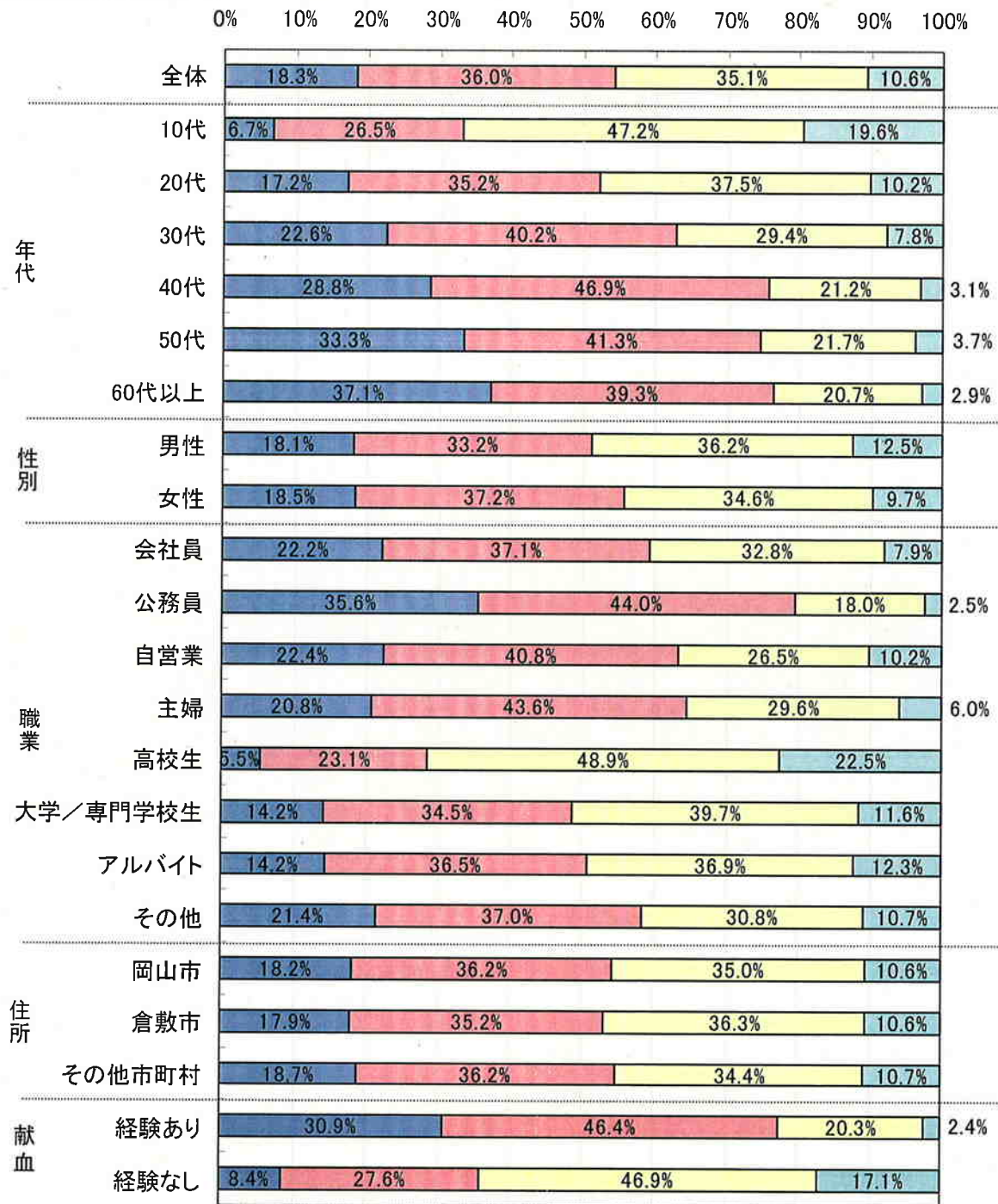
問2. 献血の種類や方法など、献血について知っていますか。

- 全体 約半数の人が献血の種類や方法などを知らない（「3. あまり知らない」と「4. 全く知らない」の合計が45.7%）
- 年代 問1の献血経験と同じく、年代に比例して、知っている人（「1. 知っている」と「2. ある程度知っている」の合計）の割合が高くなっている。
- 性別 性別による認知率の差異は小さい。
- 職業 公務員、主婦、自営業の認知率は高く、高校生、大学／専門学校生の認知率は低い。
- 住所 居住地による差異は小さい。
- 経験 献血経験者は「1. 知っている」「2. ある程度知っている」の合計が8割近くあり、逆に未経験者は「3. あまり知らない」と「4. 全く知らない」の合計が6割を超えている。

【人数】

		1.知っている	2.ある程度知っている	3.あまり知らない	4.全く知らない	計
全体		1,895	3,715	3,626	1,093	10,329
年代	10代	156	613	1,092	453	2,314
	20代	704	1,442	1,536	419	4,101
	30代	450	802	587	156	1,995
	40代	367	597	270	40	1,274
	50代	163	202	106	18	489
	60代以上	52	55	29	4	140
性別	男性	596	1,092	1,188	410	3,286
	女性	1,294	2,611	2,425	682	7,012
職業	会社員	737	1,235	1,090	264	3,326
	公務員	144	178	73	10	405
	自営業	44	80	52	20	196
	主婦	250	525	356	72	1,203
	高校生	61	257	545	251	1,114
	大学／専門学校生	344	835	960	281	2,420
	アルバイト	83	213	215	72	583
	その他	210	363	302	105	980
住所	岡山市	828	1,644	1,593	480	4,545
	倉敷市	499	983	1,012	297	2,791
	その他市町村	522	1,010	959	299	2,790
献血	経験あり	1415	2128	929	111	4,583
	経験なし	480	1,587	2,697	982	5,746

- 1.知っている
- 2.ある程度知っている
- 3.あまり知らない
- 4.全く知らない



問3. 献血に関心はありますか。

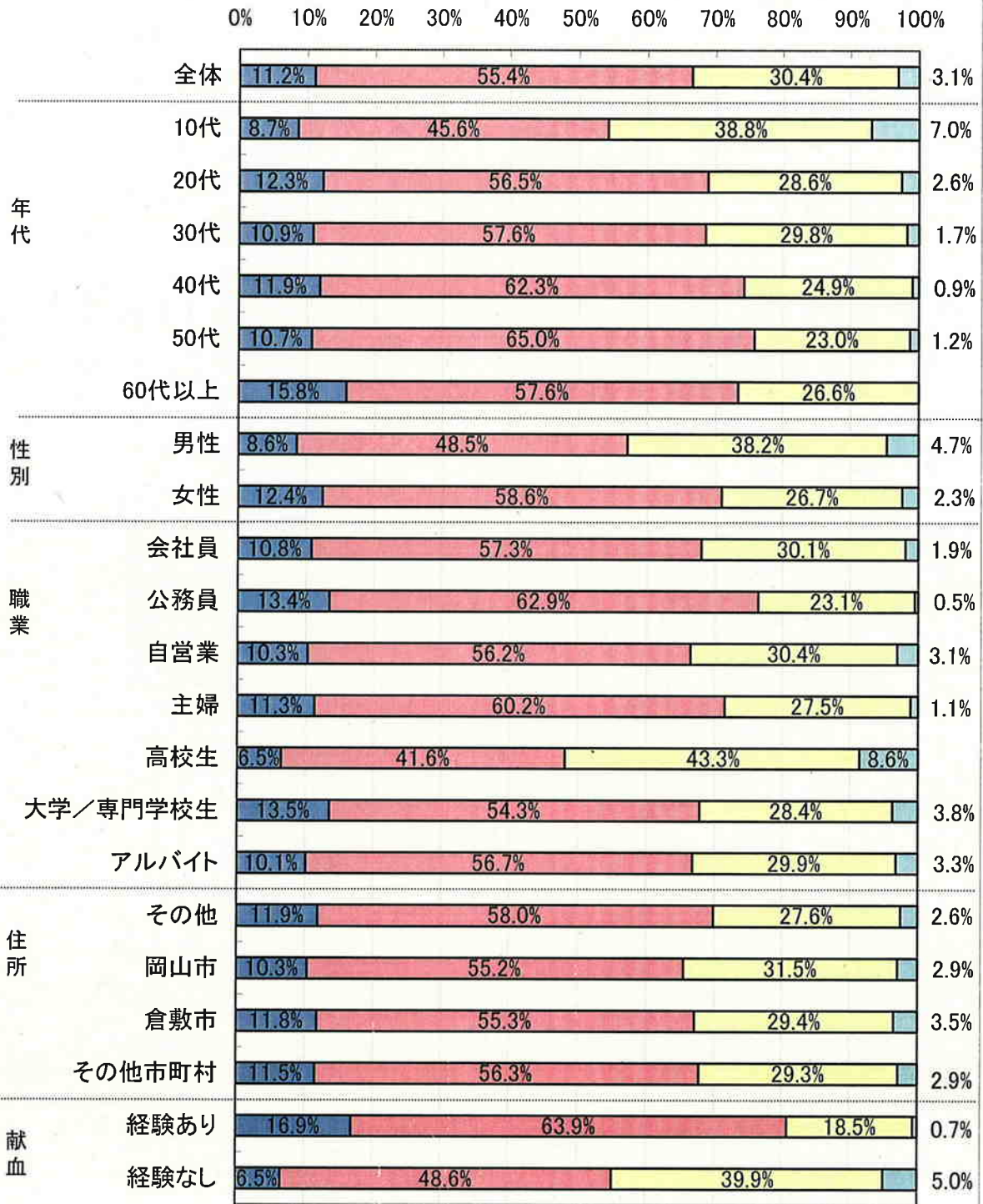
■全体	献血に「非常に関心がある」(11.2%)、「関心がある」(55.4%)を合算した“関心派”は約7割。一方「あまり関心がない」(30.4%)、「全く関心がない」(3.1%)を合算した“無関心派”は約3割。
■年代	40代以上は7割以上が“関心派”。一方年代が若くなるにつれて関心が落ち、10代の“関心派”は6割を下回っている。
■性別	女性の“関心派”は、男性を13.9ポイント上回っている。
■職業	公務員は約8割近くが、主婦は約7割が“関心派”であり、逆に高校生の“関心派”は半数以下と極端に少なく、半数以上が“無関心派”である。
■住所	居住地による差異は小さい。
■経験	献血経験者は“関心派”が8割を超える。未経験者も半数以上が“関心派”であり、献血をするきっかけや献血への理解を深めてもらうことなどの努力をすれば、献血未経験者が献血協力者になる余地は十分であると推測できる。
■全国調査との比較	全国調査では“関心派”：“無関心派”は5：5。岡山の方が全体的に関心が高いことがわかる。

全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1.非常に関心がある	2.関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない	計
全体		1,149	5,706	3,129	319	10,303
年代	10代	200	1,049	893	160	2,302
	20代	504	2,319	1,173	105	4,101
	30代	217	1,148	594	34	1,993
	40代	151	789	315	12	1,267
	50代	52	316	112	6	486
	60代以上	22	80	37	0	139
性別	男性	280	1,588	1,251	153	3,272
	女性	866	4,103	1,868	164	7,001
職業	会社員	357	1,899	998	62	3,316
	公務員	54	253	93	2	402
	自営業	20	109	59	6	194
	主婦	136	725	331	13	1,205
	高校生	72	462	481	95	1,110
	大学/専門学校生	325	1,312	686	91	2,414
	アルバイト	59	330	174	19	582
	その他	116	567	270	25	978
住所	岡山市	469	2,506	1,430	133	4,538
	倉敷市	329	1,540	819	97	2,785
	その他市町村	320	1,565	813	80	2,778
献血	経験あり	775	2,926	847	32	4,580
	経験なし	374	2,780	2,282	287	5,723

- 1.非常に興味がある
- 2.興味がある
- 3.あまり興味がない
- 4.全く興味がない



問4. 次のうち、あなたが献血に関する広報媒体として見たこと（聞いたこと）のあるものを全てお答え下さい。

- 全体 5割以上の方が、「テレビ（62.9%）」「街頭での呼びかけ（58.8%）」「献血バス（56.6%）」を選んでおり、この3項目が圧倒的に多い。続いて「ポスターの掲示（35.6%）」や「献血に関するイベント（27.1%）」も比較的多い。逆に、ネット社会と言われるものの、厚生労働省、岡山県、血液センターのホームページは少ない状況。
  - 年代 「ラジオ」「新聞」「会社や地区の回覧板」「自治体の広報誌」は、30代以上が多く、逆に、「チラシの配布」「友人や家族から聞いた」「学校の授業の教材」は10代、20代が多い。「回覧板」「自治体の広報誌」は30代以上が多く、逆に、「ネットサイト」「友人や家族から聞いた」は10代、20代が多い。
  - 性別 性別による差異はほとんどない。
  - 職業 「テレビ」「新聞」は職業による差異はほとんどない。高校生は「献血バス」「街頭での呼びかけ」が少ない。
  - 住所 居住地による差異は小さい。
  - 経験 献血経験者と未経験者との差異は小さい。
  - 全国調査との比較 全国調査でも「街頭での呼びかけ」「テレビ」「献血バス」の回答が多く岡山県と傾向は同じ。
- 全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		テレビ	ラジオ	新聞	街頭での呼びかけ	チラシの配布	会社や地区の回覧板	ポスターの掲示	献血に関するイベント	自治体の広報誌	パンフレット	献血をテーマにしたブログ	献血をテーマにしたネットサイト	献血バス	友人や家族から聞いた	学校の授業の教材	雑誌	岡山県のホームページ	岡山県赤十字血液センターのHP	厚生労働省のホームページ	その他	見たこと（聞いたこと）がない	総回答者数
全体		6,461	1,638	2,222	6,039	2,040	1,531	3,656	2,780	997	865	74	148	5,817	2,150	1,325	369	127	443	96	147	83	10,269
年代	10代	1,503	185	434	1,073	590	118	786	535	71	268	23	49	1,052	494	531	90	15	62	16	39	46	2,292
	20代	2,500	496	753	2,575	888	508	1,554	1,256	231	344	24	58	2,556	1,085	672	140	44	178	44	61	23	4,088
	30代	1,177	451	436	1,233	288	435	689	527	282	106	17	26	1,187	313	73	66	33	106	19	27	9	1,986
	40代	838	353	411	811	190	328	445	331	266	89	7	9	712	170	38	53	17	70	9	17	3	1,270
	50代	341	118	141	267	69	114	140	106	112	41	1	4	237	66	8	15	14	22	4	2	2	480
	60代以上	89	34	44	76	14	26	38	24	34	17	2	1	68	18	3	5	4	5	4	1	0	138
性別	男性	2,210	694	720	1,644	618	418	985	650	226	263	32	59	1,556	479	376	123	58	127	52	44	44	3,257
	女性	4,232	937	1,494	4,381	1,418	1,110	2,664	2,126	766	600	42	88	4,246	1,662	947	243	67	315	44	102	39	6,982
職業	会社員	2,034	688	652	1,901	483	654	1,040	829	275	176	19	41	1,803	535	264	102	38	167	29	32	24	3,310
	公務員	257	90	108	276	93	97	151	115	73	45	2	4	228	76	38	13	18	32	8	11	3	399
	自営業	126	57	38	112	23	23	45	39	37	15	1	1	94	29	10	9	2	11	3	4	1	191
	主婦	767	197	317	793	183	256	430	343	250	83	10	8	738	218	58	50	16	46	9	12	3	1,201
	高校生	732	88	203	408	243	45	339	199	31	117	9	22	407	205	241	42	7	36	6	16	31	1,100
	大学／専門学校生	1,531	226	487	1,524	714	142	990	761	104	299	20	49	1,505	720	570	80	18	87	28	53	8	2,415
	アルバイト	355	98	142	357	97	104	247	183	84	47	6	7	375	128	60	23	8	21	2	3	4	581
	その他	602	173	260	619	189	195	382	288	135	78	8	14	613	216	77	44	16	40	10	14	8	974
住所	岡山市	2,871	726	963	2,717	872	635	1,610	1,188	372	346	36	67	2,562	971	564	162	50	210	42	51	28	4,529
	倉敷市	1,715	388	566	1,625	538	445	927	769	263	210	19	30	1,556	517	367	96	33	113	27	44	28	2,773
	岡山県その他市町村	1,758	490	647	1,589	597	425	1,060	774	340	300	17	39	1,604	632	375	104	41	113	25	49	26	2,771
献血	経験あり	2,709	918	1,084	2,800	822	950	1,657	1,277	609	346	34	62	2,774	703	422	163	74	305	53	62	14	4,550
	経験なし	3752	722	1,138	3,239	1,218	581	1,999	1,503	388	519	40	86	3,043	1,447	903	206	53	138	43	85	69	5,719